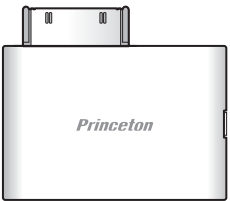
Princeton

Bluetooth ヘッドフォンアダプタ PTM-BHP5シリーズ

Bluetooth Headphone Adapter PTM-BAH2S
Bluetooth Dongle PTM-BAHID2

ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。
ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。
・ご使用の前に、必ず本書の「安全上のご注意」「製品保証規定」をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
・本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

ご使用になる前に

●一部都道府県によっては、条例によりハンズフリーの使用が制限されている場合があります。
●運転中の携帯電話等の使用はおやめください。
⚠本製品からの発信や着信操作、電話機からの発信や着信操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
●ご使用の携帯電話機によっては、通話中にエコー現象（通話相手に自分の声が少し遅れて聞こえる現象）が発生する場合があります。このような場合、電話機の音量を下げてみてください。ご使用の電話機によっては、解消されない場合がございます。予めご了承ください。
●電車などで使用する場合には製品仕様上、音量を上げすぎると音漏れが発生する場合があります。周りの人にご迷惑をかけないようにご使用をお願いします。
●長い時間大音量で使用すると、聴力に影響を与える場合がございます。使用する際の音量には十分ご注意ください。
●再生機器側の音量は、小さい音量から徐々に調節してください。突然大音量で聞くと、聴力に影響を与える場合がございます。
●通信機器と接続して使用する際は、各機器の取扱説明書をお読みの上、使用環境条件等を守って正しくお使いください。

最新情報の入手方法

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新情報や販売店を紹介しております。

URL http://www.princeton.co.jp/

ユーザー登録について

弊社ホームページ にて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ 「ユーザー登録」
http://www.princeton.co.jp/support/registration/top.html

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。
※ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

保証規定について

付属保証書をご参照ください。
なお、保証書の再発行はできませんのであらかじめご了承ください。

製品に関するお問い合わせについて

テクニカルサポート

電話：03-6670-6848
受付：月曜日〜金曜日の 9：00〜12：00、13：00〜17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

Webからのお問い合わせ
http://www.princeton.co.jp/contacts/top.html

安全上のご注意（必ずお読みください）

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定されます。
⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

図記号の意味	
⚠	注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）
⃠	行為を禁止する記号（⃠の中や近くに禁止内容が描かれています。）
❗	行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

⚠危険

⃠ 自転車に乗りながらや、自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドフォンを使用しないでください。交通事故などの原因となることがあります。

⃠ 運転中の携帯電話等の使用はおやめください。運転中の携帯電話および本製品を操作は交通事故の原因になります。本製品からの発信や着信操作、電話機からの発信や着信操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

⃠ 歩行中にヘッドフォンをご使用になる時は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となることがあります。

⃠ 航空機の運行の安全に支障をきたす恐れがあります。
航空機内では、使用しないでください。

❗ 電源ケーブルが損傷（芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など）した場合は、直ちに使用を止めてください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。

⃠ 電源ケーブルの上に重いものや本製品を載せる、電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、壁や棚などの間に挟み込ませるなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。

⃠ 電源ケーブルを熱器具の近くや直射日光のあたるところに近づけないでください。コードの皮膜が溶けて、火災の原因になります。

⃠ 電源ケーブルを人が通るところなどひっかかりやすいところに這わせないでください。躓いて転倒したり、怪我や事故の原因になります。

⚠警告

❗ 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。ただちに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなってから販売店に修理を依頼してください。

❗ 内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。

⃠ 浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。

⃠ 本製品に水を入れたり、濡らしたりしないようにしてください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。

⃠ 雷鳴が聞こえたら、ACアダプタやアンテナ線には触れないでください。感電の原因になります。

⃠ 本製品は、日本国内での使用を前提に設計、製造されています。付属のACアダプタ（AC100V）以外での使用は避けてください。火災、感電の原因になります。

⃠ 電源の接続は必ず同梱のACアダプタをご使用ください。同梱のACアダプタを使用せずに、直接電源コンセントや自動車のシガーライター差込口に接続しないでください。感電したり高い電圧が加えられることによって、過大な電流が流れ、内蔵されている電池から漏液、発熱、発火または破損する原因となります。

❗ 本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。

⃠ 本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリなどの小さな金属物等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。

⃠ 本製品を分解、改造しないでください。本製品や携帯電話の火災、感電、破損の原因になります。

⃠ 熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。火災や故障の原因になります。

⚠注意

⃠ ヘッドフォンをご使用になる時は、音量を上げすぎないように注意してください。
耳を刺激するような音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

❗ ヘッドフォンが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して下さい。

⃠ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。

❗ 万が一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからACアダプタを抜けるようにしてください。

⃠ 充電完了後に、長時間ACアダプタをコンセントに接続したままにしないでください。
充電終了後は、安全のために必ずコンセントからACアダプタを抜いてください。（6時間以上の充電はしないでください）

❗ 充電は必ず室内で行ってください。

❗ お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。

⃠ 濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。

❗ ACアダプタや充電ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らず必ずコネクタ部分をもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

❗ お子様がむやみに手を触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。

⃠ 自動車内で使用した場合、車種によりまれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、そのような場合は使用しないでください。

⃠ 本製品や携帯電話のコネクタ部分を、むやみに指で触れたり金属を接触させたり水気や埃を付着させないようご注意ください。接触不良や静電気により、本製品および携帯電話の故障や感電の原因になります。

⃠ 本製品に動作対応している携帯電話機以外の機器に接続しないでください。本製品または接続している機器の故障の原因になります。

使用上のご注意

本製品で使用する電波について

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の近くでは使用しないでください。

●電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●IEEE802.11g/b無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。
●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

本製品の電池について

●長時間（6時間以上）の充電はしないでください。
●電池には寿命があります。
使用状態によって異なりますが、約300回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をご購入ください。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。予めご了承ください。
●電池は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

良好な通信のために

●他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
●電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
●無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
●使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをおすすめします。
他のBluetooth機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線LAN機器との電波障害について

●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

●テレビ/ラジオなどはBluetoothとは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

●本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。
●サービスエリア内でも電波の届かないところでは通話できません。また、電波状況の悪いところでは通話できないところもあります。なお、通話中に電波状況の悪い所へ移動すると、通話が途中で途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
●携帯電話および本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性もありますので、ご留意ください。

1 付属品の確認

本製品の付属品の内容は、次のとおりです。
お買い上げの商品に次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

・ヘッドフォンアダプタ
・iPod（第4世代・第5世代）/ iPod mini / iPod nano（第1世代・第2世代）専用オーディオアダプタ
・ACアダプタ
・ネックストラップ型イヤフォン

2 各部の名称と主な機能

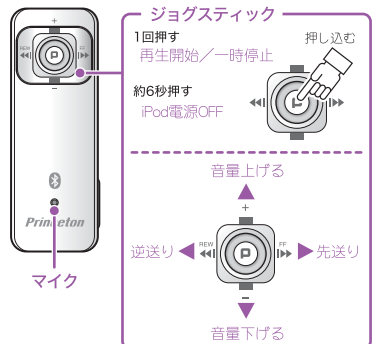
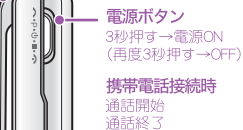
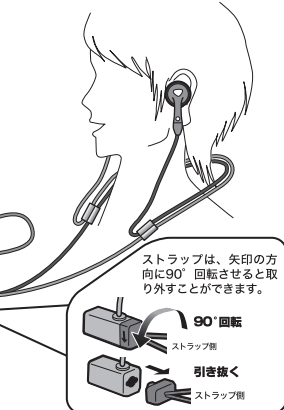
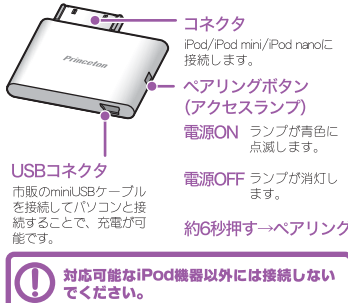
ヘッドフォンアダプタ

オーディオアダプタ

コネクタ
iPod/iPod mini/iPod nanoに接続します。

ペアリングボタン（アクセスランプ）
電源ON ランプが青色に点滅します。
電源OFF ランプが消灯します。
約6秒押す→ペアリング

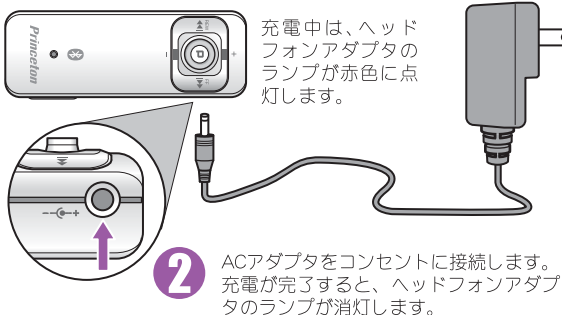
USBコネクタ
市販のminiUSBケーブルを接続してパソコンと接続することで、充電が可能です。

対応可能なiPod機器以外には接続しないでください。

3 商品の充電方法について

・工場出荷時のバッテリは充電されていません。
初めてお使いになるときは必ず充電をしてください。
・6時間以上充電しないでください。
・充電中は本製品は使用できません。
・ACアダプタ接続時に一瞬アダプタのランプが赤色に点灯する場合がありますが、故障ではありません。

1 ヘッドフォンアダプタの充電用コネクタに、ACアダプタのケーブルを接続します。

充電中は、ヘッドフォンアダプタのランプが赤色に点灯します。

2 ACアダプタをコンセントに接続します。
充電が完了すると、ヘッドフォンアダプタのランプが消灯します。

完全に充電するまで
約 4 時間

完全充電時の使用時間
使用時間：連続 6.5 時間
スタンバイ状態：連続 230 時間

購入後初めて本製品を使用する際には、6時間程度充電することをお勧めいたします。

裏面へ続く

4 iPodのワイヤレスヘッドフォンとして使用する

1. ヘッドフォンをヘッドフォンアダプタに接続して、電源をONにします。ランプが青色に点滅します。

約3秒押す

2. オーディオアダプタをiPod/iPod mini/iPod nanoに接続します。(コネクタを奥まで挿し込んでください)

3. iPod/iPod mini/iPod nanoで音楽を再生すると、ワイヤレスヘッドフォンとして使用できます。

使用後は必ず電源をOFFにしてください。
ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタが通信中(青いランプが短く点滅)のまま放置すると、バッテリが早く消耗してしまいます。

HINT **音量が小さい場合**
必要に応じて、本製品の音量を音量ボタンで調節してください。

5 携帯電話やパソコンのBluetoothヘッドセットとして使用する

車を運転中に携帯電話の操作をすることは道路交通法により禁止されております。

ヘッドフォンアダプタと携帯電話を接続する

ヘッドフォンアダプタは、Bluetooth通信機能を標準搭載している携帯電話のワイヤレスヘッドセットとして使用することが可能です。

機器の設定を行うときは、携帯電話の取扱説明書もご用意ください。

1. ヘッドフォンアダプタにヘッドフォンを接続します。

2. ご利用の携帯電話で、Bluetooth機器の登録を行います。携帯電話の取扱説明書に従って、「Bluetooth機器の検索」を行ってください。

携帯電話の機種によっては、検索開始時に携帯電話の暗証番号入力が必要な場合があります。

3. 携帯電話がBluetooth機器の検索を開始したら、青と赤のランプが交互に点滅するまで、電源ボタンを押したままにします。(ペアリング状態)
点滅したら、ボタンを離します。

検索中

ヘッドフォンアダプタが電源OFFの状態で約6秒押す

赤と青のランプが交互に点滅

携帯電話と通信設定を開始します。

4. 接続機器が、本製品を検出すると「PTM-BAH2S」として登録されます。登録の際に、パスキーの入力を要求された場合は、
『1234』
を入力してください。

PTM-BAH2S

パスキーの入力
1234

携帯電話の機種によっては、機器の種類を選択する必要があります。
本製品は、「ハンズフリー」として登録してください。
ハンズフリー以外で登録した場合、本製品が正常に動作しない場合があります。また、ご利用の携帯電話によっては、操作が行える機能や行えない機能がある場合があります。あらかじめご了承ください。

○ ハンズフリー
× ヘッドセット

5. 携帯電話の指示に従って、登録を完了してください。

以上で設定完了です。

パソコンなどの機器と接続する

ヘッドフォンアダプタは、Bluetooth通信機能を標準搭載しているパソコンのBluetoothヘッドフォンとして使用することが可能です。
Bluetoothヘッドフォンとして使用する場合、本製品の再生ボタンやジョグダイヤルを使用して、曲の再生、一時停止、早送りや巻き戻しなど、音楽再生の基本的な操作※を行うことが可能です。

※機種により可能な操作が異なります。

Bluetoothヘッドフォンとして使用する場合は、接続機器側で「A2DP」「AVRCP」プロファイルの使用が許可されている場合に限ります。

1. ヘッドフォンアダプタにヘッドフォンを接続します。
2. 接続機器側で、『Bluetooth機器を検索する』状態にします。詳しい操作方法は、ご使用機器の取扱説明書を参照してください。

3. 青と赤のランプが交互に点滅するまで、電源ボタンを押したままにします。
点滅したら、ボタンを離します。

接続機器と通信設定を開始します。

4. 接続機器が、本製品を検出すると「PTM-BAH2S」として登録されます。登録の際に、パスキーの入力を要求された場合は、
『1234』
を入力してください。
5. 画面の指示に従って、登録を完了してください。

これで設定完了です。

設定済みの携帯電話を使用する場合

一度設定した機器は、再度設定をする必要はありません。

携帯電話を接続待ちの状態にします。
※設定方法は、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

ヘッドフォンアダプタの電源をONにします。ヘッドフォンから「ピポッ」と音が聞こえます。

再度電源ボタンを1回押すと、携帯電話と接続を確立します。

青いLEDがゆっくり3回連続点滅します。

携帯電話の機種によっては、接続を確立する際に携帯電話の操作が必要な場合があります。

電話を受ける

ヘッドフォンアダプタの電源をONにして、携帯電話と正しく通信設定されているか確認してください。
携帯電話の呼び出し音が鳴ったら、電源ボタンを1回押して通話を開始します。

ヘッドフォンとヘッドフォンアダプタのマイクで通話できます。

通話を終了するには、電源ボタンを押します。

電話をかける

ヘッドフォンアダプタの電源をONにして、携帯電話と正しく通信設定されているか確認してください。

携帯電話で電話をかけます。
通話している状態で、携帯電話を操作し、ヘッドフォンに通話を切り替えます。

ヘッドフォンとヘッドフォンアダプタのマイクで通話できます。
※音声は、モノラルとなります。

ヘッドフォンの電源が切れている場合、または携帯電話との通信設定(ペアリング)がされていない場合、ヘッドフォンで電話を受けたり、通話することはできません。
携帯電話の機種によっては、通話開始や通話終了時の操作でボタンを押す回数が異なる場合や、携帯電話側の操作が必要な場合があります。使用できる携帯電話の一覧は、弊社ホームページをご確認ください。

一度携帯電話やパソコンなどの機器と接続した場合、再度iPodと接続して使用する場合は、通信設定(ペアリング)が必要になります。詳しくは「ペアリングについて」を参照してください。

ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタの通信設定(ペアリング)について

ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタは出荷時にペアリングされています

ペアリングを行う前に

携帯電話などと接続したことがある場合や、ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタが正しく通信ができない場合、再度通信設定(ペアリング)を行ってください。

通信設定(ペアリング)を行う前に本製品のバッテリが充電されているか確認してください。バッテリが消耗している場合、ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタの通信が正しくできない場合があります。
完全に充電された状態で、あらためて通信状態を確認されることをお勧めいたします。

1. 電源OFFの状態から、電源ボタンを青と赤のランプが交互に点滅するまで押したままにします。
点滅したら、ボタンを離します。

電源OFFの状態で約6秒押す

赤と青のランプが交互に点滅

2. オーディオアダプタをiPod/iPod mini/iPod nanoに接続します。(コネクタを奥まで挿し込んでください)
アダプタをiPodに接続後すぐに、ランプが青色に点灯するまでペアリングボタンを押したままにします。
ランプが点灯したら、ボタンを離します。

3. **ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタが通信設定を開始して、自動的に接続を確立します。**

一度ペアリングすると、電源をOFFにしても設定は維持されるため、再度電源をONにしてもペアリングをせずに、そのまま使用することができます。

? 困ったときは

ヘッドフォンアダプタ使用中に困ったとき

初めてお使いになるときは、ご使用前に充電を行ってください。

音声が小さい
- ヘッドフォンアダプタの音量を調整してみてください。

音声が聞こえません
- ヘッドフォンアダプタの電源がONになっているか確認してください。
- ヘッドフォンアダプタの音量が最小になっていないか確認してください。
- オーディオアダプタとヘッドフォンアダプタの通信が確立しているか確認してください。(ボタン操作一覧表参照)
- オーディオアダプタと再生機器が正しく接続されているか確認してください。
- オーディオアダプタとヘッドフォンアダプタの距離が決められた距離(約10m)以上離れていないか確認してください。

充電できない
- 本体と充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
(正しく充電が行われている場合、本体のLEDが赤く点灯します。充電が完了するとLEDは消灯します。)

音が割れる
- ヘッドフォンアダプタの音量を下げてみてください。
- 再生機器のボリュームまたはイコライザーなどの調整を行ってください。

雑音が多い
- 本体の電池の容量が少なくなっている場合があります。充電を行ってください。
- オーディオアダプタとヘッドフォンアダプタの距離を近くしてください。
- 無線LAN、電子レンジ等、2.4GHzの周波数帯域を使用する機器の近くでは音が途切れたり、雑音が入る場合があります。その場合はできるだけ、ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタの距離を近くしてください。

ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタ(携帯電話や再生機器)は、どれくらいの距離で使えますか?
環境によって異なりますが、最大10m以下で御利用ください。ヘッドフォンアダプタとオーディオアダプタの距離が10m以下でも、間に遮蔽物があったり電気機器があると、接続できなかったり、ノイズを拾いやすくなります。

iPod 5Gのビデオ機能でも音楽を聴くことはできますか?
可能です。映像を見ながらヘッドフォンアダプタで音楽を聴くことができます。
- 注 意 -
ビデオ機能を使用している際には、iPodの省電力モードには仕様上対応しておりませんのでご注意ください。ビデオ機能を使用中に省電力モードになった場合は、一度オーディオアダプタをiPodから取り外した状態でiPodを操作して、音楽を再生している状態でオーディオアダプタを再度接続し、ビデオを再生する操作が必要になります。
※ビデオ再生中は、オーディオアダプタを抜かないでください。正常動作しなくなる場合があります。

ボタン操作一覧表

■ヘッドフォンアダプタ

動 作	操 作	ランプ表示
電源ON	電源OFF ▶ 約3秒押す	青のランプが3回点滅
電源OFF	電源ON ▶ 約3秒押す	—
ペアリングモード	電源OFF ▶ 約6秒押す	青と赤のランプが交互に点滅
iPodの操作(ジョグスティック)	音量上げる / 音量下げる / 逆送り ◀ / ▶ 先送り	—
電話を受ける	携帯電話通話中 ▶ 1回押す	—
電話をかける	携帯電話ダイヤル ▶ 通話中 ▶ 携帯電話でイヤフォンに通話を切り替える	—

■オーディオアダプタ

動 作	コントロールボタン 操作	ランプ表示
電源ON(スタンバイモード)	本体を対応するiPodに接続する	ランプが連続点滅 → ゆっくりランプが点滅
接続状態	—	ランプが点滅
ペアリングモード	本体を接続した直後にペアリングボタンを約6秒押し続ける	ランプが点灯
電源OFF	本体を抜く	—

仕 様

ヘッドフォンアダプタ(型番:PTM-BAH2S)

適合規格	Bluetooth Ver1.2
伝送方式	FH-SS(周波数ホッピング方式)
周波数範囲	2.4GHz~2.4835GHz
通信距離	約10m(環境によって異なります)
発信出力	1mW
電源	内蔵Li-ionバッテリー
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP
セキュリティ	128ビット暗号化
連続使用時間	最大:6.5時間
	スタンバイ時:230時間
出力端子	3.5mmヘッドフォンジャック
動作温度	0~40℃
動作湿度	10~85% (結露なきこと)
外形寸法	W20×D20×H60(mm)
質量	15g

オーディオアダプタ(型番:PTM-BAHID2)

適合規格	Bluetooth Ver1.2
伝送方式	FH-SS(周波数ホッピング方式)
周波数範囲	2.4GHz~2.4835GHz
通信距離	約10m(環境によって異なります)
発信出力	1mW
電源	iPod側より電源供給
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
動作温度	0~40℃
動作湿度	10~85% (結露なきこと)
外形寸法	W40×D30×H7(mm)
質量	10g
対応機器	iPod(第4世代・第5世代)/ iPod mini / iPod nano(第1世代・第2世代)

プリンストンテクノロジー株式会社

2007年 8月 第1版 Printed by CHINA